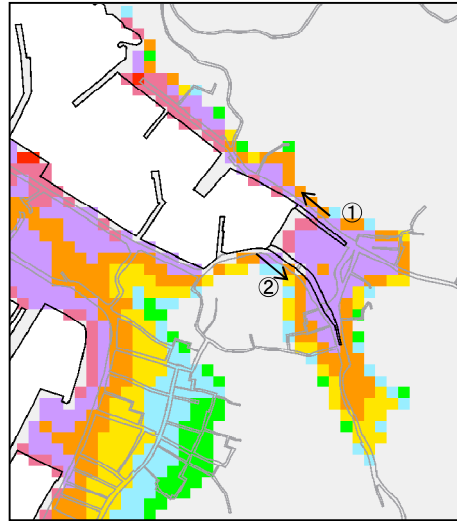


沼島-1 2	海岸名	沼島漁港	地区名	南あわじ市沼島	構造形式	重力式
-----------	-----	------	-----	---------	------	-----

→水平変位量:0.20m  
↓液状化沈下量:0.15m  
△傾斜角:3.4°

→水平変位量:0.16m  
↓液状化沈下量:0.14m  
△傾斜角:2.4°

◆位置図



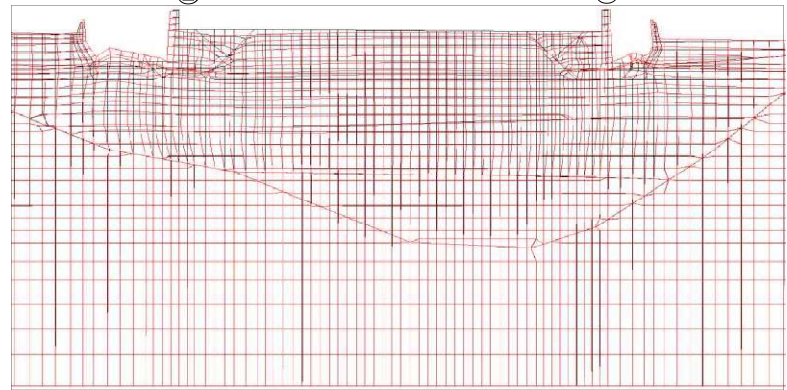
写真①



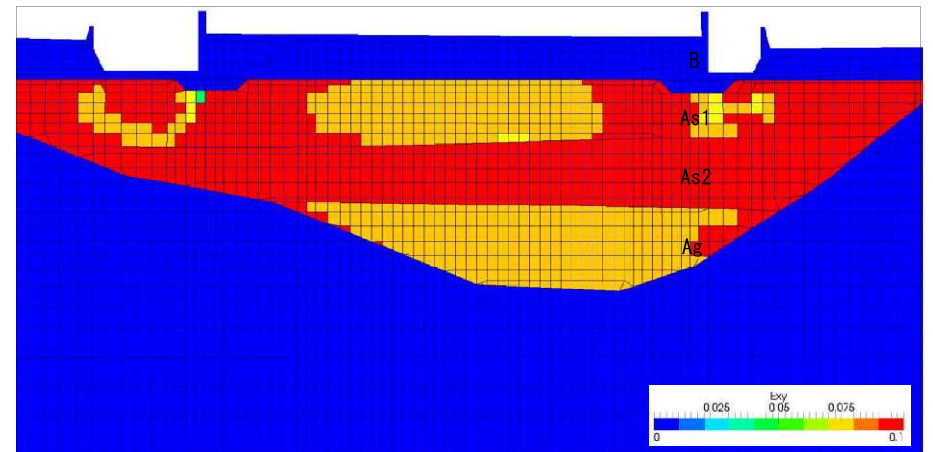
写真②



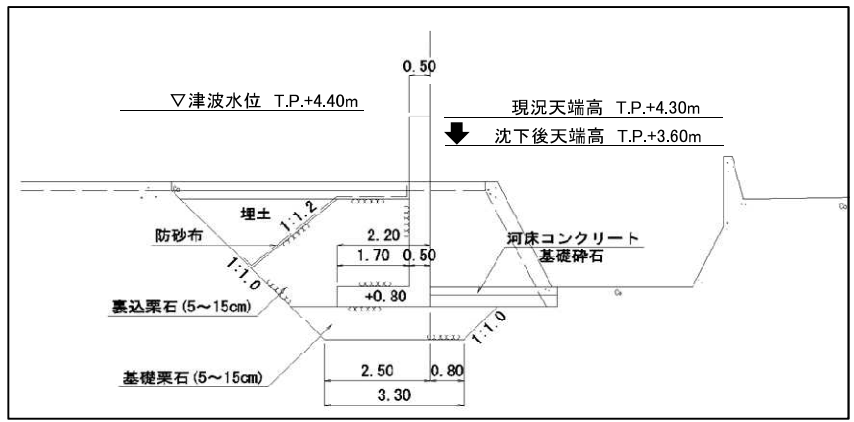
◆詳細耐震診断結果(FLIP解析結果)変形図



過剰間隙水圧比分布図



◆標準断面図(①)



※標準断面図で示す沈下においては、液状化による沈下だけでなく地殻沈降も考慮したものである。

◆考察

- ・南海トラフ巨大地震による防潮堤の残留変形量は、①沈下0.14m、水平0.16m、傾斜角3.4°、②沈下0.15m、水平0.20m、傾斜角2.4°となっており、地震後の安定性は確保されている。
- ・防潮堤の安定性が確保され、背後の地盤変状も小さいことから、津波越流時における防潮堤の粘り強さは保たれていると考えられ、防潮堤の倒壊を招くおそれもない。

⇒ 対策不要

炬口-1	海岸名	炬口漁港	地区名	洲本市炬口	構造形式	重力式(未施工)
------	-----	------	-----	-------	------	----------

◆位置図



写真①

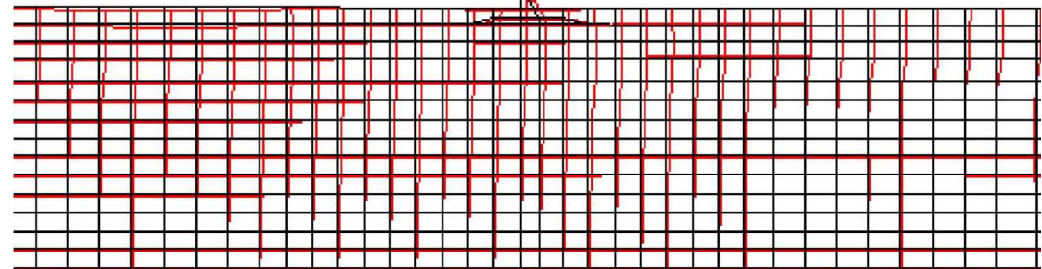


写真②



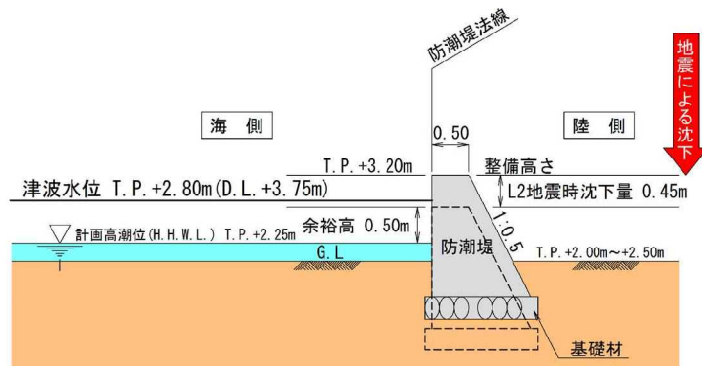
◆詳細耐震診断結果 (FLIP解析結果)

変形図

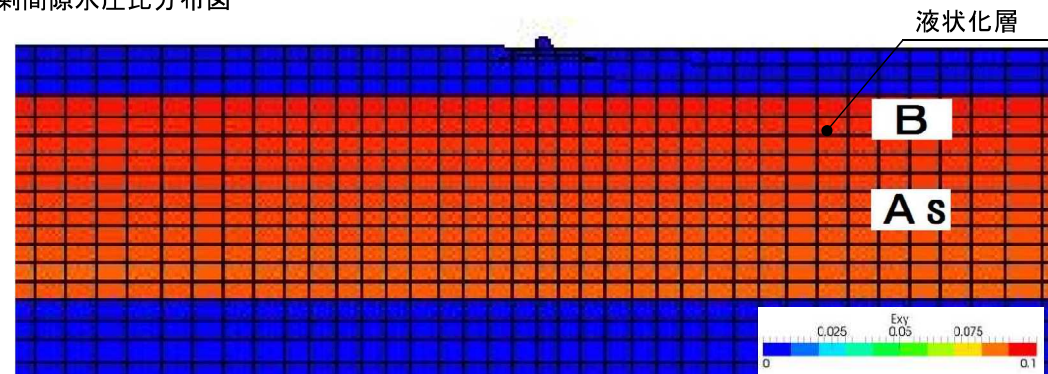


←水平変位量:0.04m  
↓液状化沈下量:0.15m  
Δ傾斜角:0.07°

◆標準断面図



過剰間隙水圧比分布図



◆考察

- \* 標準断面図の防潮堤は計画断面であり、未施工である。
- \* 標準断面図に示す沈下においては、液状化による沈下だけでなく地殻沈降も考慮したものである。

・南海トラフ巨大地震による炬口漁港の変形量は、沈下量0.15m(地殻沈降含まない)、水平変位量0.04m、傾斜角0.07°であり、地震後の安定性は確保されている。  
 ・また、B層及びAs層は液状化するが、全体的に平坦な地盤であり、大きな地盤変状は確認されない。  
 ・防潮堤の安定性が確保され、背後の地盤変状も小さいことから、津波越流時における防潮堤の粘り強さは保たれていると考えられ、防潮堤の倒壊を招くおそれもない。



**対策不要**

海岸名

福浦海岸

地区名

赤穂市福浦

構造形式

傾斜式

### ◆位置図



写真①

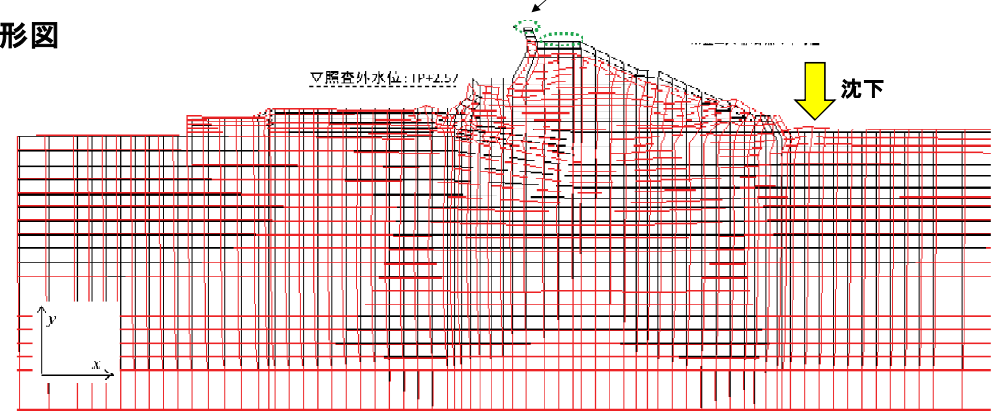


写真②

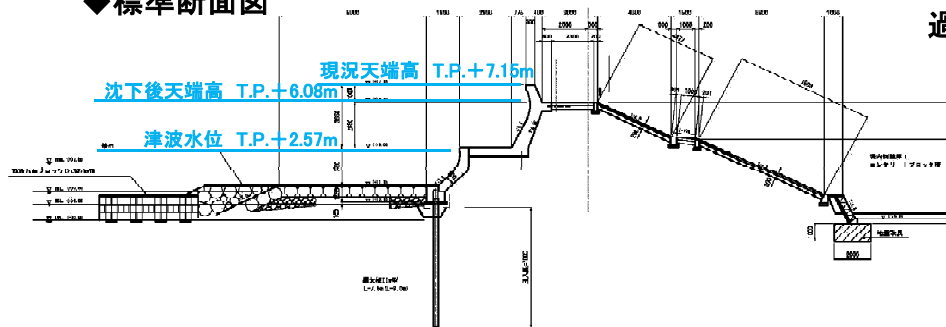


### ◆詳細耐震診断結果(FLIP解析結果)

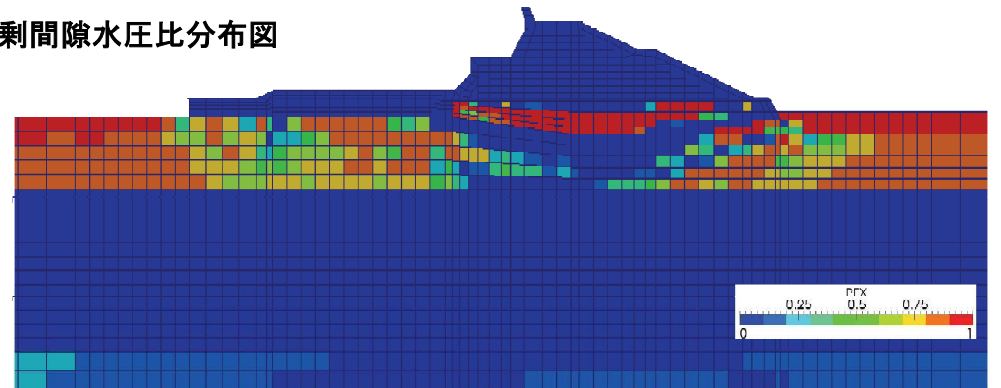
#### 変形図



### ◆標準断面図



### 過剰間隙水圧比分布図



※標準断面図で示す沈下においては、液状化による沈下だけでなく地殻沈降量も考慮したものとしている。

### ◆考察

- 南海トラフ巨大地震による防潮堤の液状化変化量は、沈下0.98m、水平0.25mであり、地震後の安定性は確保されている。
- 液状化に伴う沈下により防潮堤周辺地盤に変形が生じているが、防潮堤の機能を喪失するようなものではない。
- また、堤防高は想定津波高を上回っていることから当該施設において対策は行わない。

⇒ 対策  
不要

■詳細耐震診断結果概要と対策要否の判定

吹上-1	海岸名	吹上海岸	地区名	南あわじ市吹上	構造形式	傾斜式
------	-----	------	-----	---------	------	-----

◆位置図



写真①



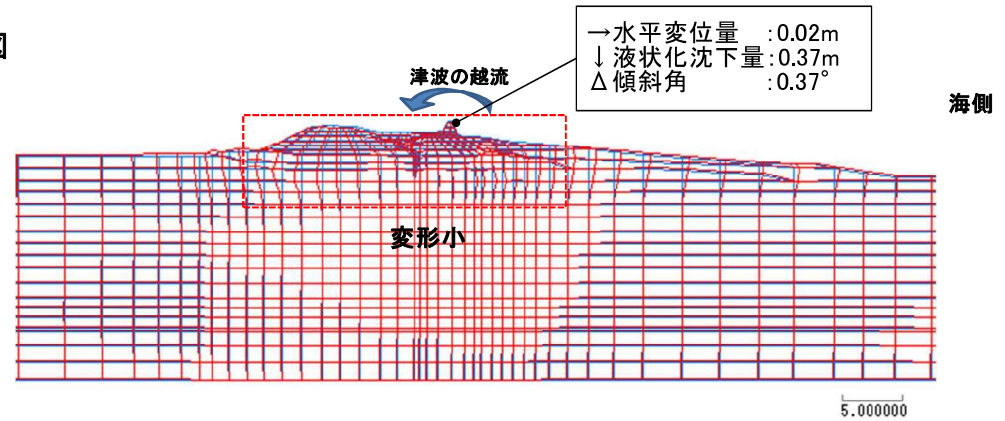
写真②



◆詳細耐震診断結果 (FLIP解析結果)

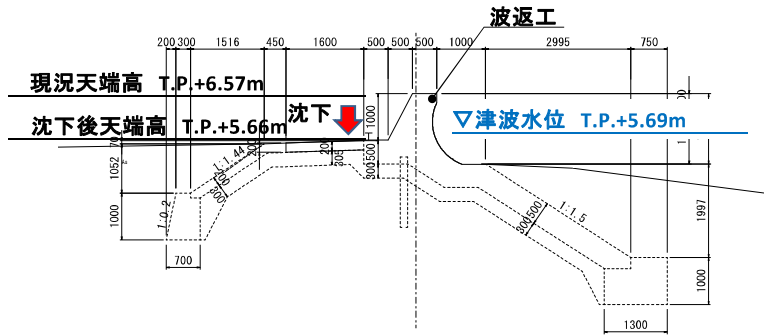
変形図

陸側



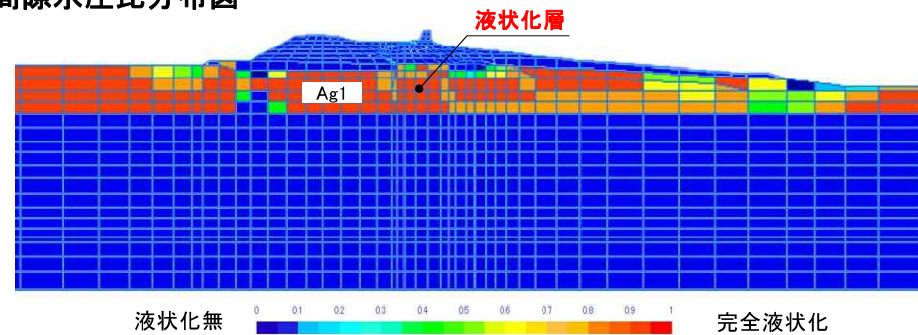
※変形図は等倍

◆標準断面図



\* 標準断面図で示す沈下においては、液状化による沈下だけでなく地殻沈降量も考慮したものとしている。

過剰間隙水圧比分布図



◆考察

- 南海トラフ巨大地震による防潮堤の残留変形量は、沈下0.37m、水平0.02m、傾斜0.37°であり、地震後の安定性は確保されている。
- また、Ag1層の液状化による波返工の測方流動は0.02m程度、波返工背後の堤防盛土部の測方流動は0.37m程度であり、堤防全体の変形に対する影響は小さい。
- 堤防の地盤変状により、津波が0.03m程度越水する可能性があるが、背後地の土地利用は農地となっており、人家等への被害が生じる可能性はない。
- 以上の内容から、当該施設の対策は行わない。

◆対策要否

対策不要